

# 大津市障害者自立支援協議会

## 2020 年度全体会報告書



「あるサービスは調整する  
ないサービスは創る」

## 2019 年度大津市障害者自立支援協議会 活動報告

1. おおつ障害者プランに掲載されている計画の実現に向けた取り組みを実施。
  - ①相談支援プロジェクトを立ち上げて、委託相談支援事業所の在り方と相談支援専門員の拡充に向けた施策の検討を実施。相談支援事業所体制整備補助事業が2020年度から整備される。
  - ②重心及び医療的ケア児等支援協議会で医療的ケア児等を支援するためのネットワークの構築とコーディネーターの配置に向けた検討を実施。
  - ③地域生活支援拠点運営委員会にて知的分野における面的整備での地域生活支援拠点の実施に向けた検討を実施。2020年度から地域生活支援拠点の面的整備を実施するための要綱等が策定される。
  - ④精神福祉部会にて精神障害者の地域包括ケアの体制の構築の検討を実施。
  - ⑤北部ネットワーク協議会や南部これから会議にて日中活動の保障のための生活介護等の役割分担や資源整備の検討を実施。
2. 障害福祉サービスの在り方に関する検討を実施
  - ①移動支援の見直しに関して、移動支援プロジェクトにて検討を実施。
  - ②大津ならではの就労移行支援の拡充とスコラの移管に関して、大津ならではの就労移行支援プロジェクトにて検討を実施。
3. 圏域内の障害福祉の人材の確保と育成に向けた取り組みを実施
  - ①相談支援向け、サービス提供事業所対象に連携強化とスキルアップのための研修の実施
  - ②障害福祉現場で働く人材の確保定着に向けた広報及び交流活動
  - ③権利擁護及び虐待防止に向けた当事者及び支援者のための研修活動等の実施
4. 2019 年度に作成した提言書
  - ①2019 相談支援プロジェクト提言書
  - ②自宅浴槽で入浴が困難な方の支援に関する提言書
  - ③大津市における発達障害児者支援についての提言書
  - ④大津市における災害発生時の障害者支援についての提言書
  - ⑤行動障害を呈する方の生活や余暇の充実のための提言書

## 2020 年度大津市障害者自立支援協議会 活動方針

1. おおつ障害者プランに掲載されている計画の実現に向けた取り組みを行います。特に以下の点に関して重点的に協議を行います。
  - ① 相談支援連絡会や運営委員会にて相談支援事業の拡充や今後の体制整備に向けた取り組みの検討を行います。
  - ②重症心身障害児者及び医療的ケア児等支援協議会にて医療的ケア児等を支援するための

ネットワークの構築と資源整備に向けた検討を行います。

- ③地域生活支援拠点運営会議にて誰もが地域で居住を確保して安心して暮らせるための地域生活支援拠点事業の拡充の検討を行います。
- ④精神福祉部会にて精神障害者の方が地域で安心して暮らせるための地域包括ケアの体制の構築の検討を行います。

2. 大津圏域における障害福祉の在り方及び支援の在り方に関して、プロジェクト会議を開催して検討を行います。

- ①新型コロナウイルス感染症にかかる在宅生活困難障害者の支援に関する検討会  
障害児者本人が新型コロナウイルス感染症に感染して入院となり、病院スタッフ以外の支援が必要となる場合や、障害児者の家族や支援者が新型コロナウイルス感染症に感染して、本人が濃厚接触者になった場合等の支援の在り方、及び今後新型コロナウイルス感染症が感染拡大した際の障害福祉事業所の支援の在り方に関して検討を行います。
- ②大津圏域高次脳機能障害連絡会議（新規立ち上げ、別紙参照）  
滋賀県高次脳機能障害支援センターと連携して、大津市における大津市の高次脳機能障害の支援に関する現状と課題を把握し、課題解決のためのネットワークの構築と支援体制や施策の整備を行います。
- ③大津市障害福祉計画・障害児福祉計画検討プロジェクト  
大津市における第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画の内容の検討に関して検討を行います。
- ④移動支援プロジェクト  
次年度7月に予定されている大津市の移動支援の見直しに関して検討を行います。
- ⑤大津ならではの就労移行支援プロジェクト  
就労支援部会の下、大津ならではの就労移行支援の取り組みの共有と今後の在り方に関して検討を行います。
- ⑥スタンダードプロジェクト  
障害福祉サービス提供事業所の支援の質の向上を目指した相互評価や第三者評価の取り組みの検討を行います。
- ⑦地域生活支援拠点多機能事業所整備プロジェクト  
地域生活支援拠点運営会議の下、重度知的障害及び行動障害の方の住まいの場も含めた多

機能型の拠点施設の新規整備に関して検討を行います。

### 3. 圏域内の障害福祉における人材育成に向けた取り組みを行います。

① 人材育成部会にて、支援者の連携強化とスキルアップのための研修を実施します。

② 人材育成部会にて当事者の方のエンパワメントのための研修「わたし・暮らし デザインLab」を企画し、生活の知恵を学ぶための「便利家電塾」「せつやく料理塾」「かんたん料理塾」「おしゃれ服ガイド」「お金の使い方セミナー」「大人×遊び」を実施します。

③ 大津市障害者虐待防止センターと協働して、権利擁護及び虐待防止に向けた当事者及び支援者のための研修を実施します。

### 4. その他

① 委託相談支援事業所の再編に向けて、委託相談支援事業所の相談員と障害福祉課のケースワーカーの役割について、事例検討や制度に関する学習会を通して検討します。

② 自立生活支援ホーム運営委員会と児童・障害・母子支援連携検討会をセットにして開催し、障害のある児童の社会的養護の課題について理解を深めます。

③ 障害のある子どもと家族が社会資源をうまく使い楽しく生きるための学び&相談の場「(仮称)うま楽(たの)スクール」(案)を開催し、就学前後を通じた支援を検討します。

# 大津市障害者自立支援協議会とは？

## 1. 自立支援協議会とは

### i 設置根拠

第八十九条の三 地方公共団体は、単独で又は共同して、障害者等への支援の体制の整備を図るため、関係機関、関係団体並びに障害者等及びその家族並びに障害者等の福祉、医療、教育又は雇用に関連する職務に従事する者その他の関係者（次項において「関係機関等」という。）により構成される協議会を置くように努めなければならない。

前項の協議会は、関係機関等が相互の連絡を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うものとする。（「障害者総合支援法」より）

### ii 役割と目的

自立支援協議会は、地域の関係者が集まり、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった地域の課題を共有し、その課題を踏まえて、地域のサービス基盤の整備を着実に進めていく役割を担っています。

「協議会」は、要望や陳情の場ではありません。実認識のデータから出発して、課題達成のためのポイントはなにかを、地域（チーム）で考えだそうとするものです。「協議会」では、実効策をアイデアとして、全員で受け入れ、それらを原材料として、今までの活動を変更したり、柔軟な対応に変更することが大切です。

## 2. 大津市障害者自立支援協議会とは

「あるサービスは調整する・ないサービスは作り上げる」をスローガンにしています。障害児者の地域生活を支援するため、複数のサービスを適切に結びつけて調整するとともに、社会資源の改善及び開発を行う相談支援の中核的役割として設置されています。大津市においては、「大津市障害者サービス調整会議」をもとに平成 18 年 10 月からスタートしています。

### i 大津市障害者自立支援協議会の目的は以下の通りです。

- ① 障害をもつ市民一人ひとりから集約されたさまざまな課題を共有すること
- ② 各施策が効果的に実施推進されるために関係機関をつなげること（連携）
- ③ 課題の解決に向けた新たな社会資源をつくること（創造）

### ii 大津市障害者自立支援協議会の事業内容は以下の通りです。

- ①障害当事者のニーズ、地域資源の充足などの問題点の把握のための相談支援活動の実施
- ②在宅福祉サービスにおける問題点の整理及び調査・研究
- ③地域課題の解決に向けた協議および施策提案

### iii 大津市障害者自立支援協議会の構成

大津市内の障害当事者、また障害者支援に関係する全ての事業所・行政機関が構成機関であると位置づけています。協議会を円滑に運営するために、構成員（機関）の中から各当事者団体・事業・機関を代表する委員を選出しています。

### iv 大津市障害者自立支援協議会は様々な会議を開催することで事業の運営を行っています。

#### ①個別支援会議（随時開催）

地域の障害のある方一人ひとりが直面している生活課題を解決するために関係者が集まって開かれます。相談支援機関が調整役となり話し合われる内容に応じて、本人をはじめ様々な機関・事業所から参加者を招集します。

#### ②相談支援連絡会（毎月1回開催）

相談支援機関が集まり、個別の相談支援では解決できない課題を集約し、検討を行います。相談支援者がより良い支援を行うための情報交換、スキルの向上を目指した学習会も行っています。

#### ③支援部会（毎月あるいは2か月に1回開催）

支援内容ごとに関係事業所や行政機関が集まり課題を集約し、検討を行います。支援内容に応じて18の部会を設定しています。

#### ④定例会議（奇数月に開催）

相談支援連絡会、各支援部会で集約された地域の福祉・保健・医療等に関わる諸課題を、大津市の課題として全ての事業所・関係機関で共有する場です。

課題について意見交換を行い、再度、相談支援連絡会や支援部会での詳細な協議を助けます。

#### ⑤プロジェクト会議（随時開催）

各会議では詳細な協議を行いにくい課題や緊急性の高い課題の解決のために期間を定めて集中的に協議します。自立支援協議会で今まで立ち上げてきたプロジェクト会議は以下の通りです。

- ・ 重度障害者の入院時のヘルパーによる付き添いに関して  
→入院時意思疎通支援派遣事業をコミュニケーション支援事業の一つとして整備。
- ・ 自宅浴槽で入浴が困難な方の支援に関して  
→訪問入浴の回数増加と生活介護施設等の入浴施設を利用したヘルパーによる入浴支援を推進
- ・ 誰もが安心して暮らせる住まいの場に関して
- ・ 障害のある児童へのよりよい放課後支援のあり方に関して
- ・ 透析を必要とする重度知的障害者の地域生活に関して
- ・ おおつならではの就労移行支援に関して  
→大津市から講師料の補助金を出していただき、生活訓練事業としてスコラ、生活訓練と就労移行支援事業としてくれおカレッジの2か所を整備。
- ・ 移動支援に関する制度見直しに関して  
→65歳以上の身体障害の方も65歳以前から利用されていた方は継続して利用可能になる。

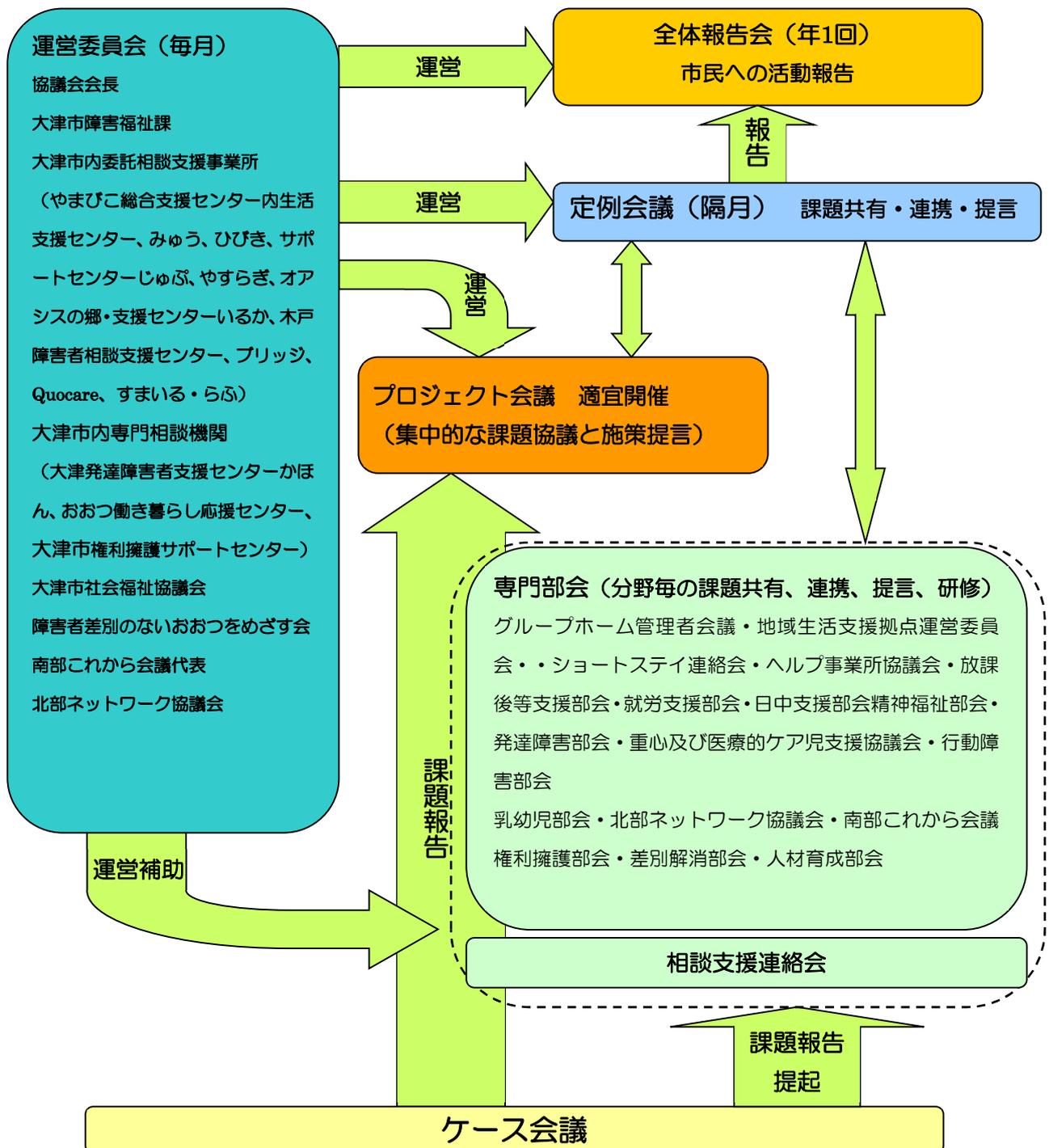
#### ⑥全体報告会（年1回開催）

年に1回大津市内の障害福祉関係機関、周辺機関に声を掛けて集まっていただき、大津市障害者自立支援協議会の活動報告を行ないます。

v 課題解決の流れ

相談支援連絡会や各支援部会からあがってきた課題は、定例会議で報告し共有します。その後、定例会議での意見交換と、各部会等での詳細な協議を繰り返し、課題解決のための具体策を作成します。必要に応じてプロジェクト会議による協議、解決策の作成も行います。それらの具体策は定例会議で最終確認され、大津市障害者自立支援協議会からの取り組みとして既存の社会資源の連携強化を図り、新たな社会資源創造のために市や県行政施策への提案・提言につなげていきます。

大津市障害者自立支援協議会の体系



# 2019 年度大津市障害者自立支援協議会活動報告

## 1. 定例会議及び運営委員会活動報告

### 定例会議・全体報告会（全 6 回）

#### ① 5月17日開催。

- ・ 自立支援協議会事務局より 2018 年度活動重点報告及び 2019 年度の取り組み。
- ・ 大津市障害福祉課より大津市障害福祉予算概要等について説明。
- ・ 大津市発達障害者支援センターかほん活動報告。
- ・ 大津市障害者虐待防止センター2019 年度活動報告。
- ・ 大規模災害時の対応に関するプロジェクト会議の中間報告。
- ・ 人材育成部会より新人研修における当事者参加の取り組みに関して報告。
- ・ 精神福祉部会より当事者作成のパンフレット作成に関して報告。
- ・ 「住まいの場のこれから検討会」の報告。「知的分野における地域生活支援拠点」の整備の案内。
- ・ 「重症心身障害児者及び医療的ケア児支援協議会」の取り組みに関する説明。

#### ② 7月19日開催。

- ・ 滋賀県より、障害者差別のない共生社会づくり条例及び障害者差別解消総合推進事業に関する説明。
- ・ 滋賀県高次脳機能障害支援センターより大津圏域高次脳機能障害に関する学習会。
- ・ 防災プロジェクト代表より、提言の報告と意見交換。
- ・ 大津市障害福祉課より移動支援の見直しに関して説明。

#### ③ 9月20日開催。

- ・ 事務局より滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例に基づく地域アドボケートの推薦に関する報告。
- ・ 部会代表より大津市北部ネットワーク協議会シンポジウムに関する報告。
- ・ 滋賀県障害福祉課大平氏を迎えて相談支援事業に関する学習会。
- ・ やまびこ相談支援事業所より就学前の相談支援の現状と課題との報告。
- ・ プロジェクト代表より相談支援プロジェクト提言書の報告と意見交換。

#### ④ 11月15日開催。

- ・ 大津市の発達障害児者の支援体制に関して大津市子ども発達相談センターより報告。その後、大津市発達障害者支援センターかほんより報告と意見交換。
- ・ 大津圏域における福祉職員の採用に向けた今後の取り組み～就活 room tugumi さんとの連携に関して～の講演。

#### ⑤ 1月24日開催。

- ・ 大津圏域の人材育成の取り組みについて。自立支援協議会人材育成部会、大津市障害者虐待防止センター、大津市発達障害者支援センターかほんより報告を行ったあと、意見交換を実施。
- ・ 大津市内で障害者施設建設に関する反対運動が怒っていることから、大津市社会福祉協議会に、地域住民から見た大津の障害福祉について講演。
- ・ 新1年生児童の保護者対象の福祉サービス説明会を報告。

⑥ 3月15日開催。

- ・ 大津市より次年度の障害福祉の施策に関して説明「次年度の障害福祉予算に関して」「おおつ障害者プランの見直しに関して」「移動支援の見直しに関して」「地域生活支援拠点の面的整備に関して」「大津ならではの就労移行支援の補助金に関して」。
- ・ 自立支援協議会次年度の取り組みについて説明。

**運営委員会（全12回）**

- ・ 各部会から抽出された課題について運営委員会に報告し、その整理と重点的に取り組む課題について協議を行った。運営委員会の開催にあたり調整と課題のまとめを行った。令和元年度は下記の通り開催し、それぞれ委員17人が参加した。
- ・ 4月24日、5月22日、6月26日、7月24日、8月28日、9月25日、10月23日、11月27日、12月25日、1月22日、2月26日、3月25日
- 定例会議・全体報告会（全6回）
- ・ 開催にあたり、各機関の調整、まとめの作成、各部会へのアドバイス、運営を行った。

2. 部会報告

① 大津市ヘルプ事業所協議会

部会長：寺田俊介（ヘルパーステーションかがやき）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大津市内でサービスを提供している居宅介護事業所が参加。自立支援協議会ができる前から、制度改善とヘルパーのスキルアップを目的として自主的に活動。</li> <li>・ 大津市内の事業所の現状と課題を共有</li> <li>・ 移動支援の事業所の経営の安定と新規参入を促すための単価の見直し等の提言を毎年行っている。</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大津市内をサービス提供地域とする居宅介護事業所（常時15事業所程度が参加）</li> </ul>
資源状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 大津市内の事業所</li> <li>・ 居宅介護 64 箇所・重度訪問介護 57 箇所・行動援護 12 箇所・同行援護 28 箇所</li> <li>・ 78 箇所（登録事業所）・46 箇所（大津市内）・36 箇所（車両送迎可）</li> </ul>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月23日：各事業所の現状と課題の共有と移動支援の見直しについての進捗状況の共有と今年度の部会運営に関して確認を行う。</li> <li>・ 7月2日：移動支援のQ&amp;A及び移動支援の見直しに関する行政説明と意見交換を行う。</li> <li>・ 9月17日：移動支援の在り方に関して学習会と提言書作成に向けた検討を行う。</li> <li>・ 11月21日：移動支援の見直しと精神障害者のヘルプ利用に関する検討を行う。</li> <li>・ 2月12日：移動支援の見直し、家事支援のあり方、事業所運営での課題等に関して意見交換を行う。</li> <li>・ 3月3日：移動支援の見直しに関して行政からの説明の後、意見交換を行う。</li> </ul>
課題など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重度訪問介護や行動援護の支援を実際に提供してくれる事業所が不足している。特に夜間や早朝にサービスを提供できる事業所が少ない。</li> <li>・ 車両送迎の可能な事業所の数が少ない。特に車椅子の方が利用できる事業所が少ない。</li> <li>・ ヘルパーの人材不足</li> <li>・ 移動支援における夜間早朝加算、緊急時加算、特別地域加算の制度化</li> </ul>

## ② 放課後等支援部会

部会長：上坂健（放課後等デイサービスフレンズ）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大津市でサービスを提供している放課後等デイサービス、児童を対象にした日中一時支援事業所が参加。</li><li>・ 事業所同士の近況報告および制度や支援方法等に関する情報交換会や研修会を開催。</li><li>・ 「支援の質の向上」を目指して以下のことを大切にしている<ul style="list-style-type: none"><li>・ (1) 学校との連携</li><li>・ (2) 地域全体の課題の中での自分たちの役割</li><li>・ (3) 人材育成のための研修（事例検討、交流研修会）</li></ul></li></ul>
参加者	・大津市をサービス提供地域とする放課後等デイサービス事業所、児童を対象にした日中一時支援事業所
資源状況	・放課後等デイサービス：27 か所、日中一時支援事業所：25 か所
開催状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 5月10日：管理者向けにおおつ障害者プランの概要説明と放課後デイサービスのガイドラインの活用に関する意見交換を行う。</li><li>・ 7月12日：現場職員向けに医療的ケア児に関する学習会及び放課後等デイサービスでの受け入れ状況の確認と今後の受け入れ拡大に関して意見交換を行う。</li><li>・ 9月13日：管理者向けに虐待防止研修を行う。</li><li>・ 11月8日：従事者向けに虐待防止研修を行う。</li><li>・ 1月24日：従事者向けにペアレントトレーニング研修を行う。</li><li>・ 2月24日：管理者向け研修を開催。実地指導の共有・地域別（北南）課題の共有を行う。</li></ul>
課題など	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 放課後等デイサービス及び日中一時支援の質の向上</li><li>・ 医療的ケアのある方や行動障害を呈する形を受け止められる事業所が限られている。</li><li>・ 地域の学校や相談支援事業所との連携強化。</li></ul>

## ③ グループホーム管理者会議

部会長：神領美和（ノエル福祉会ホーム担当）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2か月に1回、奇数月の第2木曜日に開催</li><li>・ 市内のグループホーム事業所の責任者が参加</li><li>・ 以下のことを議論する。<ul style="list-style-type: none"><li>① 事業所間の情報共有</li><li>② 入居者支援に対する職員の課題</li><li>③ ホーム運営についての課題（消防法など）</li></ul></li></ul>
参加者	ノエル福祉会、しが夢翔会、ケアホームともる、美輪湖の家大津、おおつ福祉会、みどり園、伊香立の杜、青山寮、ぽのハウス、滋賀里病院、夢の木、ステップハウスおりぶ、障害福祉課
資源状況	・グループホーム：44 か所
開催状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 5月9日：各事業所の利用者及び運営状況の共有を行う。</li><li>・ 7月11日：ぽのハウスの見学会と各事業所の現状確認を行う。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月12日：各事業所の利用者支援及び運営の現状と課題の共有を行う。</li> <li>・1月9日：各事業所の利用者支援及び運営の現状と課題の共有を行う。</li> </ul>
課題など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規でのホーム開所が困難。課題としては土地や物件の確保、消防法の改正による自動火災報知機やスプリンクラーの設置義務、支援者の確保と育成。</li> <li>・利用者の高齢化に伴う、医療面の対応や日中支援の対応に関して、小規模な職員集団の中で関係機関と連携しながら、どう支援していくか？</li> <li>・支援者の高齢化に伴う新たな支援者の確保と育成の課題。小集団かつ一人職場に近い環境で、支援者の支援の統一や虐待防止及び権利侵害防止に向けた取り組みをどう行っていくか？</li> <li>・現存のホームが建築法の関係で、建て替えか転居が求められている。</li> </ul>

#### ④ 地域生活支援拠点運営会議

部会長：木村 和弘（ステップ広場ガル）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2か月に1回程度開催</li> <li>・地域生活支援拠点事業の整備に関して協議を行う。</li> </ul>
参加者	ステップ広場ガル、伊香立の杜ショートステイ、むくの木、生活支援センターみゆう、ひびき、そうだんオフィス、障害福祉課
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月5日：地域生活支援拠点の要綱及び運営の在り方の検討を行う。</li> <li>・10月16日：住まいの場のとりまとめのリストの現状報告と他の自治体の先行事例の読み合わせと意見交換を行う。</li> <li>・12月18日：事業所の緊急時対応の状況を確認した後、来年度から実施予定の地域生活支援拠点の運営の在り方に関して意見交換を行う。</li> </ul>
課題など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域生活支援拠点施設」の多機能型の整備をどう進めていくか。昨年度まで開催していた住まいの場のこれから検討会では3つの重装備型のホームの整備を提言。重度の知的障害及び自閉症・行動障害を呈する利用者タイプ、2つめは重症心身障害のある利用者タイプ、3つめは高齢障害者タイプ。</li> </ul>

#### ⑤ ショートステイ連絡会

部会長：柴田雄一（伊香立の杜ショートステイ）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奇数月第2水曜日の午前に場所は持ち回りで開催</li> <li>・事業所間での情報共有を行う。</li> </ul>
参加者	むくの木・ステップ広場ガル・伊香立の杜ショートステイ・びわこ学園医療福祉センター草津・ぽのハウス
資源状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内4ヶ所（ステップ広場ガル、伊香立の杜、むくの木、ぽのハウス）</li> <li>・中学生以上の知的障害を主に対象にしている事業所しかない。そのため、児童は近江学園を利用。身障や精神の方が利用できるショートステイは市内にはなく、他圏域のショートステイを利用。</li> <li>・大津市内で新規にショートステイの整備を検討している事業所がある。</li> </ul>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月8日：各事業所の現状と課題の共有と今年度の運営に関して議論する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月10日、9月11日：各事業所の現状確認と課題の共有を行う。</li> <li>・11月13日： ショートステイの現状と課題の共有をおこなう。</li> <li>・1月23日：ショートステイの現状と課題の共有をおこなう。</li> <li>・3月11日：ショートステイの現状と課題の共有をおこなう。</li> </ul>
課題など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用人数や契約者が増加してきている。計画相談によるニーズの掘り起こしによって増えてきている？利用を受けきれない状況になっている。</li> <li>・むくの木に移転が必要だが、物件が見つからない状況。</li> <li>・家族状況がかなり厳しい状況の方の利用が増えてきている。利用者も親とも高齢なケースも多く、ショートだけでなく将来の住まいの場の確保の検討が必要。</li> <li>・常時マンツーマン対応が必要な方のショートステイでの連泊での受け止めが単独の事業所だけでは人員体制的に困難。</li> <li>・長期に短期入所を利用されている方が増えてきている。入所、グループホームへの移行をどうしていくかが課題</li> </ul>

## ⑥ 就労支援部会

部会長：白杉滋朗（おおつ働き暮らし応援センター）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、第4木曜日の午前に開催</li> <li>① 各就労支援の事業所よりメンバーを選出して一般就労に向けたアセスメントや計画を作成して取り組みを行う。</li> <li>② 就労支援に関する関係機関からの情報提供を兼ねた学習会の開催</li> <li>③ 大津ならではの就労支援3箇所目の設置</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおつ働き暮らし応援センター、障害福祉課、北大津養護学校、草津養護学校、滋賀大附属特別支援学校・大津市内就労移行支援事業所、大津市内就労継続支援事業所、大津ならではの就労支援の事業所（スコラ・くれおカレッジ・きずな）、大津市中小企業家同友会、ハローワーク大津、大津若者サポートセンター</li> </ul>
資源状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおつ働き暮らし応援センター・生活訓練：8箇所・就労移行支援：11か所</li> <li>・社会的事業所：4か所・就労継続支援A型：5か所・就労継続支援B型：28か所</li> </ul>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月23日：ハローワーク大津より障害者雇用に関する説明、NPO法人滋賀県社会就労復興センターより情報提供</li> <li>・6月27日：参加事業所による立案企画（偶数月開催）第1回 くれおカレッジ・らくわより「座談会 ～B型で大切なことって？ どんなこと大事にしていますか？～」</li> <li>・7月25日：職業センターに関する学習会を開催。</li> <li>・8月22日：「そもそも作業所ってなんやと思います？一緒に考えよう！」というタイトルで作業所の役割に関して意見交換を行う。</li> <li>・9月26日：大津市発達障害者支援センター所長の小崎さんをお招きして、発達障害の方の就労支援で大切なポイントの講義とジョブコーチを入れた就労支援の事例検討を行う。</li> <li>・10月24日：就労における家族支援に関して学習会と意見交換を行う。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月26日：ピアライフの永井代表を招いて障害雇用に関して意見交換を行う。</li> <li>・1月23日：仕事に対してや、職員間の関係で出てくる悩みや困っていることを共有し合う。グループに分かれて、仕事のあるある、悩みなどを共有・意見交換する。</li> <li>・2月27日：前半は大津市人事課より大津市障害者活躍推進計画に関して説明をしてもらう。後半は学校との連携に関して意見交換を行う</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労継続支援事業所から一般就労への移行の促進。</li> <li>・就労移行支援事業所の活用</li> <li>・大津市内での一般就労するための職場の開拓</li> </ul>

## ⑦ 日中支援部会

部会長：西田幸夫（ピアーズ）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2ヶ月に1回開催。偶数月の第3月曜日の16:00～</li> <li>・以下の課題を検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生活介護事業所の課題の共有</li> <li>② 進路状況と決定プロセスの共有</li> <li>③ 事業所移行の取り組みの共有</li> <li>④ 今後の特別支援学校の卒業生で生活介護の利用が予測される方の人数をリスト化。生活介護の今後の整備の検討材料にする。</li> </ul> </li> </ul>
参加者	<p>さくらはうす・デイセンターすみれ・木輝・デイセンター楓・ぽかぽか・夢創舎・唐崎やよい作業所・瑞穂・愛育苑・まちかどプロジェクト・社会就労センターあおぞら・ノエルしごとの家・ピアーズ・おおぎの里・ぽかぽか・すまいる・三雲養護学校・北大津養護学校・草津養護学校・滋賀大附属特別支援学校・障害福祉課</p> <p>大津市発達障害者支援センターかほん、びわこ学園重心ケアマネ</p>
資源状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 市内の生活介護事業所 21 か所</li> <li>* 今後の生活介護の整備予定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護 IL ガーデン 坂本 2020年4月</li> <li>・生活介護＋短期入所 スマイルケア 和邇 2021年4月</li> <li>・生活介護、相談、ショート、クレオ移転 共生シンフォニー 2021年</li> <li>・生活介護 三穂の園 小野 2021年以降</li> <li>・生活介護 近江笑生会 松ヶ丘 2021年以降</li> </ul> </li> </ul>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月22日：各事業所の運営状況や課題の共有と生活介護の進路希望者の確認を行う。</li> <li>・6月24日：生活介護の若手の職員を対象に、対人関係をテーマに普段の支援の振り返りを行う研修会を開催する。</li> <li>・10月28日：各生活介護事業所の個別支援計画の相互評価を実施。</li> <li>・2月17日：各事業所の現状と次年度の部会運営の在り方に関して意見交換を行う。</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから6年間で新卒の方で生活介護の希望者が約100人近くいる。特に大津市北部と中部の重度知的及び行動障害を呈する方、及び南部の重心の方の進路先の確保が大きな課題になっている。北部地域で検討されていた施設整備について、地域との調整が難</li> </ul>

	<p>航している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の高齢化に伴う、就労支援事業所からの移行のニーズも今後増えることが予測される。</li> <li>・新卒以外の生活介護の利用希望ニーズ（施設間移行や施設併用利用も含めて）の把握と事業所利用の調整</li> </ul>
--	---

## ⑧ 精神福祉部会

部会長：杉山更紗（やすらぎ）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2ヶ月に1回、偶数月の第4金曜日の午後開催</li> <li>・部会の活性化のために事務局会議を設定。事務局は部会長、保健所、障害福祉課、ほわいとクラブ、オアシスの郷、訪問看護ステーションひまり、事務局の6名。</li> <li>・今年度は以下の2つの課題を重点的に検討。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 精神障害の方を取り巻く地域の課題を共有と資源整備に向けた検討</li> <li>② 保健所主催の中核的人材育成のプロジェクトへの協力。</li> </ul> </li> </ul>
参加者	ほわいとクラブ・りぼーンスイッチ・ぽっとらつく・若鮎の家・蓬莱の家・夢の木・ぴあ☆らぼ・訪問看護ステーションひまり・琵琶湖病院・滋賀里病院・瀬田川病院・湖南クリニック・精神医療福祉センター・障害福祉課・大津市保健所・オアシスの郷・やすらぎ・おおつ働き暮らし応援センター・大津若者サポートステーション
資源状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害の方が主に利用している事業所</li> <li>①就労移行支援：1箇所</li> <li>②就労継続支援B型：8箇所</li> <li>③生活訓練：2箇所</li> <li>④地域活動支援センター：2か所</li> </ul>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月14日：2017年度に作成した提言書の確認と資源整備等の進捗の確認と今後の取り組みの意見交換を行う。</li> <li>・8月9日：中核的人材との研修会の開催の検討及び提言書の具元化に関して意見交換を行う。</li> <li>・10月11日：12月中核的人材との合同の研修の打ち合わせと地域包括ケアシステム及びヘルプの利用に関して意見交換を行う。</li> <li>・12月13日：中核的人材との合同で医療観察法に関する研修会を講師として社会復帰調整官を招いてと意見交換を行う。</li> <li>・1月17日：精神障害者のヘルプ利用の在り方に関してヘルプ事業所の支援者も交えて意見交換を行う。</li> <li>2月14日：今年度の取り組みの振り返りと次年度の進め方に関して意見交換を行う。</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの場の確保が困難。精神の人のグループホームはほとんどなく難しい。アパートでの一人暮らしは支援が入るほど住宅会社はひいてしまう。</li> <li>・24時間のサポート体制が不十分で地域生活における緊急時対応が課題。</li> <li>・精神障害の方が利用できるショートステイや宿泊型生活訓練が大津にない。他圏域の事業所を利用している。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害の方への家事援助等ヘルプサービスの要件が他の障害と比べて厳密であったり、障害特性による支援の専門性があり、人材育成や啓発、ガイドラインの作成等が必要となっている。</li> <li>・精神障害の方に対応する相談支援専門員が不足している。</li> </ul>
--	---

### ⑨ 発達障害者支援部会

部会長：小崎太陽（発達障害者相談支援センターかほん）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2か月に1回、奇数月の第一金曜日に開催</li> <li>・今年度は以下の課題を重点的に検討。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 発達障害の高校生及び大学生の方をフォローする機関が現在明確になく、どうフォローしていくか？</li> <li>② 関係機関の連携と共有をスムーズにするためのフェイスシートの作成の検討</li> </ol> </li> </ul>
参加者	発達障害者支援センターかほん・子ども発達相談センター・滋賀県発達障害者支援センター・障害福祉課・健康推進課・オアシスの郷・やすらぎ・生活支援センター・大津若者サポートステーション・おおつ働き暮らし応援センター・滋賀県引きこもり支援センター・北大津養護学校・草津養護学校・滋賀大附属特別支援学校・比叡山高校・放課後等デイサービス「フレンズ」・花きりん・セレンディップ・ハーフステップ
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月10日：各機関の現状報告と今年度の部会運営について</li> <li>・7月5日：各機関の現状報告と提言書の作成について意見交換</li> <li>・9月6日：提言書の作成の検討及び成人期の事例の検討を行う。</li> <li>・11月1日：ピカジップによる事例検討を開催。</li> <li>・1月9日：滋賀県及び大津市における発達障害児者の相談支援体制に関して報告と意見交換を開催。</li> </ul>
課題等	・発達障害の高校生をフォローする機関が現在明確になく、今後どの機関がどうフォローしていくか？

### ⑩ 行動障害部会

部会長：三ツ谷尚（伊香立の杜）

副部会長：村上貞治（いちばん星）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2ヶ月に1回、奇数月の第4月曜日の夕方に伊香立の杜で開催</li> <li>・「大津・湖南行動障害支援ネット」の後を受けて、平成24年にスタート。</li> <li>①議論している内容             <ol style="list-style-type: none"> <li>i - ケース検討と共有                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加事業所でのいわゆる困難ケースに関して、アセスメントや支援のアイデアについて相談の場となる。</li> <li>・いわゆる行動障害タイプで近江学園に入所する高校生年齢の近江学園ケース、すなわち、今後大津の事業所で連携して受け止めるべきケースについて、見学と共有。</li> </ul> </li> <li>ii - i で用いる部会の共通フェイスシート書式の作成・活用と、その過程での支援観共有・統一</li> <li>iii - 滋賀県行動障害ネットワークの内容共有とそれを受けた圏域での議論</li> </ol> </li> </ul>
------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙参照：大津地域の「行動障害支援」に関する課題整理票</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊香立の杜・大津市発達障害者支援センターかほん・ステップ広場ガル</li> <li>・ぽかぽか・いちばん星・さくらはうす・木輝・唐崎やよい作業所・愛育苑・近江学園・三雲養護学校・北大津養護学校・草津養護学校・滋賀大附属特別支援学校</li> <li>・みゆう・ひびき・生活支援センター・大津市障害者虐待防止センター</li> </ul>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月13日：今年度取り上げるケースを草津養護学校、北大津養護学校、近江学園から提案。ケース概要について共有する。市の移動支援に対する検討に伴い、現状の外出余暇支援について行動障害ケースから支援の必要性を確認する。</li> <li>・7月8日：草津養護学校に在籍されている方の事例検討と移動支援の見直しに関する行動障害の方の支援の影響に関して意見交換を行う。</li> <li>・9月9日：草津養護学校にて学齢期の事例検討と提言書の作成に向けた検討を行う。</li> <li>・11月11日：行動障害を呈する方一人ひとりに合わせた、その方が暮らしやすい環境について検討を進めていくことを目的とし、県内2法人のグループホームの見学を実施。社会福祉法人やまびこ福祉会グループホームあいり・ホーミーと社会福祉法人わたむきの里福祉会ホームひかりの2か所を見学</li> <li>・1月14日：11月視察の振り返りと地域生活支援拠点における強度行動障害の方の対応に関する検討と住宅改修に関する障害福祉課による説明と特別支援学校に通う児童の事例に関する検討を行う。</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動障害・重度タイプの人に関係した日中事業所不足の見込み。また、進路調整や既卒者の事業所変更にかかること。</li> <li>・行動障害・重度タイプの人に関係した住まいの課題。具体的には、入所施設や行動障害に一定対応可能なホームの不足。</li> <li>・行動障害支援に関する支援の質向上や人材整備・育成</li> </ul>

### ⑪ 重症心身障害児者及び医療的ケア児支援協議会

部会長：井上匡美（知的障害児者地域生活支援センター）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津市において医療機関と福祉機関の連携の充実を図り、医療的ケアの必要な方が地域で安定して暮らすための構築を図るために、福祉と医療の連携を図るための共有と協議の場として運営を行う。</li> <li>・重心及び医療的ケア児者のネットワーク構築に向けて、福祉、医療、教育等の関係機関が集まり協議を行うことになるが、毎回すべての関係者が集まり協議となると広範囲になり議論が深まらず、参加者の発言もしにくくなる。そこで全体会といくつかのテーマに分けた分科会と分けて開催を行う。</li> <li>・乳幼児部会で検討されている医療的ケア児の議論も集約して検討していく</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉課、健康推進課、学校教育課、生活支援センター、やまびこ相談支援事業所、大津市内の重症心身障害者が利用している生活介護施設、びわこ学園医療福祉センター草津、びわこ学園重心ケアマネ、訪問看護ステーション、放課後等デイサービス、北大津養護学校及び草津養護学校の進路担当、バクバクの会。</li> </ul>

<p>資源状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津市南東部に 2020 年ごろ開所を目指して重心の生活介護の整備を共生シンフォニーが予定。</li> <li>・大津市北部においては近くにショートステイできる場所がなく、ホーム等も整備されておらず、家族の負担が大きい。</li> <li>・医療的ケア児が利用できる放課後等デイサービスがニーズに足して事業所数が不足している。</li> <li>・在宅で訪問看護を利用する方及びレスパイト入院で守山小児を利用する方は多いが、障害福祉サービスを利用されている方は少ない。</li> </ul>
<p>開催状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月31日：全体会を開催。医療的ケア児の大津市の現状確認、訪問看護ステーションへのアンケート結果の共有、及び学齢期のアンケートの実施に向けた検討を行う。</li> <li>・6月24日：障害福祉サービスの分科会を開催。放課後等デイサービスでの医療的ケア児の受け入れ及び自宅浴槽で入浴が困難な方の支援の在り方、学齢期のアンケートの内容に関して意見交換を行う。</li> <li>・8月7日：重心及び医療的ケア児等支援協議会進路調整ワーキング会議を開催。特別支援学校に在籍している対象児童の把握と進路調整の在り方に関して意見交換を行う。</li> <li>・9月24日：障害福祉に関するワーキングを開催。自宅浴槽で入浴が困難な方の支援に関する検討と放課後等デイサービスでの医療的ケアの方の対応に関する状況確認を行う。</li> <li>・10月9日：大津市による医ケア児のアンケートの在り方、今後の協議会の進め方、各ワーキングの報告を行う。</li> <li>・12月9日：進路調整に関するワーキングを開催。12人参加。重心の方を受け入れている生活介護の状況報告と特別支援学校在籍の重心の方の進路希望と調整の状況確認を行い、今後の調整の在り方を検討する。</li> <li>・1月20日：障害福祉に関するワーキングを開催。自宅浴槽で入浴が困難な方の支援に関する検討と放課後等デイサービスでの医療的ケアの方の対応に関する状況確認を行う。</li> <li>・2月10日：医療連携に関するワーキングを開催。16人参加。医療的ケア児を対応している病院や訪問看護や相談支援事業所、障害福祉課、健康推進課等が集まり、医療連携の在り方に関する意見交換を行う。</li> <li>・3月2日：全体会を開催。医療的ケア児の大津市の現状確認、学齢期のアンケートの中間報告を行う。</li> </ul>
<p>課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津市北部においてはデイセンター楓及びすみれの利用者の自宅近くにショートステイができる場所がなく、ホーム等も整備されておらず、対応可能なヘルプ事業所も限られていて、在宅生活において家族の負担が大きい。</li> <li>・在宅生活においてヘルプや放課後等デイサービス及び日中一時支援の利用が医療ケアがあると提供事業所数が少ないため、希望通りに利用できない。</li> <li>・入浴支援に対するニーズが多い。訪問入浴やヘルパーによる施設開放での入浴等の制度はあるが、生活介護での入浴や通所後の入浴を希望される方が多い。</li> </ul>

## ⑫ 相談支援連絡会

報告者：坂本彩（自立支援協議会事務局）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎月第2火曜日の午前に開催</li><li>・行政からの伝達事項の共有、各相談機関の実績や課題の報告を行う。</li></ul>
参加者	・委託相談支援事業所11か所、指定特定相談支援事業所5カ所、大津市発達障害者支援センターかほん、おおつ働き暮らし応援センター、大津市聴覚障害者相談員、大津市虐待防止センター、障害福祉課、社会福祉法人グロー地域ケアシステム担当者
開催状況	毎月第2火曜日午前：障害福祉課より、報告。各相談事業所の重点課題の報告、意見交換を行う。
課題等	<ul style="list-style-type: none"><li>・サービス等利用計画の作成に委託相談支援事業所も追われて、時間をかけて対応しないといけないケースに時間を割く事が出来ない。</li><li>・認定調査も委託相談支援事業所が担っている事が多いため、業務過多の状態。指定特定相談支援事業所は法的に認定調査が出来ない状態で、認定調査員の確保が課題。</li><li>・単独又は少人数の職場であるため、相談員が孤立しがちで、スキルアップやスーパーバイズを受ける機会が限られてしまう。</li></ul>

## ⑬ 北部ネットワーク協議会

部会長：山田淳子（伊香立の杜）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・2か月に1回、偶数月の第2月曜日の午前に伊香立の杜で開催</li><li>・大津市の北部で支援をしている事業所の課題の共有と今後の資源整備に関して検討を行う。</li><li>・各分野別（就労、精神の方の支援、行動障害を呈する方の日中支援、居住支援、相談支援、居宅介護、児童の支援）に現状把握と課題整理を行う。</li><li>・大津ならではの3箇所目の北部への設置及び大津市北部の重心の方の地域拠点となるホームの整備に向けた検討を行う。</li></ul>
参加者	・伊香立の杜☆、障害福祉課、おおつ働き暮らし応援センター、大津市湖西側にある障害福祉サービス事業所・北大津養護学校の教員及びPTA
開催状況	4月15日：北部の各事業所等の現状と課題の共有を行う。 6月28日：北部ネットワーク協議会シンポジウムを北大津養護学校で開催。保護者や支援者を中心に70人の参加者がある。 8月19日：シンポジウムの振り返りと移動支援の見直しに関する行政説明と意見交換を行う。 10月21日：北部の施設整備の現状報告と移動支援の見直しに関する意見交換を行う。 12月16日：施設整備の現状報告と各事業所の現状と課題に関する意見交換を行う。 2月17日：施設整備の現状報告と各事業所の現状と課題に関する意見交換を行う。 3月9日：大津市湖西側の生活介護が集まり、各事業所の現状と今後の役割分担に関して意見交換を行う。

#### ⑭ 南部これから検討会

部会長：秋田悦雄（特定非営利活動法人しが障害者就労支援センター）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・2ヶ月に1回奇数月の第3水曜日の午後にステップ広場ガルで開催</li><li>・大津市の南部で支援をしている事業所の課題の共有と今後の資源整備に関して検討を行う。</li><li>・各分野別（就労及び移行支援、重心の方の日中通う場、精神の方の支援、行動障害を呈する方の日中支援、居住支援、相談支援、居宅介護、児童の支援）に現状把握と課題整理を行う。</li></ul>
参加者	・大津市南部にある障害福祉サービス事業所・おおつ働き暮らし応援センター・障害児協会・障害児者と支える人の会、草津養護学校進路担当及びPTA
開催状況	5月29日：大津市南部の資源整備等の進捗状況の確認及び各事業所の現状と課題の共有を行う。 7月3日：大津市南部の資源整備等の進捗状況及び相談支援体制の整備の進捗と課題の確認を行う。また、障害福祉課より移動支援の見直しに関する説明がある。後半は各事業所の現状と課題の共有を行う。 9月4日：防災プロジェクトの提言書の報告と各事業所の現状と課題の共有を行う。 11月6日：大津市南部の資源整備の現状確認と各事業所の現状と課題の共有を行う。 1月8日：大津市南部の資源整備の現状確認と各事業所の現状と課題の共有を行う。

#### ⑮ 権利擁護部会

部会長：菅 浩一（大津市権利擁護サポートセンター）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・2ヶ月に1回第3月曜日の午後に開催</li><li>・大津市の障害児者の権利向上に向けた課題の共有と今後必要とされる取組みの検討を行う。</li></ul>
参加者	・大津市権利擁護センター、滋賀県権利擁護センター、障害福祉課、あさがお、大津市社会福祉協議会、やすらぎ、みゆう、法テラス、弁護士、自閉症・行動障害サポートセンター
開催状況	4月13日：今年度、権利擁護部会で取り組んでいくことを考える 6月17日：施設従事者虐待に関する事例の検証を行う。 8月19日：施設従事者虐待に関する事例の検証を行う。 10月21日：施設従事者による虐待の事例検討を行う。 12月16日：施設従事者による虐待の事例検討を行う。 2月17日：施設従事者による虐待の事例検討及び次年度の取組みに関して意見交換を行う。
課題等	・今年度は虐待防止に関する事例検証を中心にしていく予定。

#### ⑯ 差別解消部会

部会長：石野富志三郎（大津市ろうあ福祉協会会長）

副部会長：中川佑希（障害者差別のないおおつをめざす会代表）

部会概要	・2ヶ月に1回、奇数月に開催。
------	-----------------

	・ 大津の今後の差別を解消するための体制整備の具体的検討（障害者差別解消支援地域協議会の設置の枠組みの検討等）
参加者	・ 大津市ろうあ福祉協会、障害者差別のない大津をめざす会、 障害福祉課、鳩の会、視覚障害者協会、身体障害者更生会、 大津市障害児者と支える人の会、ピアサポート WISH 滋賀県難病連大津支部、法テラス、生活支援センター、生活支援センターやすらぎ 大津市聴覚障害者相談員、自立支援協議会事務局
開催状況	・ 5月27日：滋賀県共生条例に基づく地域アドボケートの選任に関して県より説明と意見交換。 ・ 7月10日：滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例についてアドボケート専任について意見交換。障害者差別のない『おおつ』を目指す会から帝産バス乗車拒否の問題に関して報告 ・ 8月28日：滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例に基づく地域アドボケートの推薦の在り方の意見交換を行う。 ・ 10月29日：手話言語条例及びバリアフリーチェックの進捗状況と合理的配慮事例集の作成の意見交換を行う。 ・ 12月19日：差別解消部会を合理的配慮の事例集の作成、バリアフリーチェックの報告、2月開催の差別解消支援地域協議会の内容に関する打ち合わせを行う。 ・ 2月12日：合理的配慮の事例集の作成、2月開催の差別解消地域支援協議会の振り返り等に関する打ち合わせを行う。
課題等	・ 大津市では差別解消支援地域協議会を設置して、年数回協議会を開催。協議会の運営や検討内容に関して部会で検討を行う。 ・ 部会で大津市の障害者差別の現状と課題の共有、事例収集や広報啓発に向けた取り組みを継続して行う予定。

### ⑩ 人材育成部会

部会長：松岡啓太（知的障害児者生活支援センター）

副部会長：坂本彩（彩社会福祉士事務所）

部会概要	・ 大津圏域の障害福祉を担う人材の育成と質の向上のため、の研修の企画運営を行う。
参加者	① 直接支援部門：ステップ広場ガル、OSK、レモン会社、愛育苑、まちかどプロジェクト、大津市発達障害者支援センターかほん ② 相談支援部門：生活支援センター、やすらぎ、みゆう、ひびき、ひなた、かほん
開催状況	・ 相談支援初任者研修 4月19日開催 ・ 新人研修① 5月28日、29日開催 ・ 中堅研修「人も自分も育つコーチング講座」6月19日、7月3日開催 ・ JJP キャッシュレス勉強会 10月28日開催 ・ 新人研修② 10月30日開催 ・ 相談支援ステップアップ研修 9月19日、10月10日、11月7日12月11日開催 ・ 大津圏域高次脳機能障害連絡調整会議（研修会）11月1日開催

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JJP キャッシュレス勉強会 11月15日開催</li> <li>・ 相談支援専門員虎の巻研修～ケース会議編～ 11月18日開催</li> <li>・ 性的マイノリティ研修を開催。約30人参加。12月17日開催</li> <li>・ 精神障害者に関する理解の研修を大津市障害者福祉協議会と合同で開催。2月21日開始。普段精神障害者の支援に関わらない関係機関に精神障害者の支援に関して知ってもらうことを目的で映画『夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年』の上映会及びトークショーを開催。</li> <li>・ ケアマネ協との合同研修会。2月7日開催 8050問題を取り上げて事例検討と学習会を行う。約110人参加。</li> </ul>
--	---

## ⑩ 乳幼児部会

部会長：河村史恵（やまびこ園・やまびこ教室）

部会概要等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳幼児期の制度やサービス利用にあたっての課題の整理</li> <li>・ 乳幼児期の制度、施策の見直し・検討</li> </ul>
参加者	健康推進課・子ども発達相談センター・やまびこ園（教室）・わくわく・のびのび子育て総合支援センター・幼児政策課・保育幼稚園課・やまびこ相談支援事業所 障害福祉課・児童クラブ課・学校教育課・教育相談センター
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月26日：テーマの確認を行う。</li> <li>・ 6月28日：年間テーマの確認及び方針等、7月26日開催の所属長参加の全体会の進め方等</li> <li>・ 7月26日：参加機関の長が集まり、各機関の現状と課題を共有した後、各ワーキングでの今年度の議論するテーマを確認する。</li> <li>・ 8月23日：各ワーキングの進捗状況の確認と意見交換を行う。</li> <li>・ 9月9日：児童発達支援事業所の交流会を行う。</li> </ul>
検討課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 発達支援システム等の再構築について</li> <li>② 医療的ケア児・重心児に対する課題の共有と具体的な取り組みについて</li> <li>③ 相談支援事業所のあり方検討について</li> <li>④ 民間発達支援事業所との連携強化に向けた方策検討について</li> </ol>

## ⑪ 当事者部会

部会長：乾澤 正和（身体障害者更生会）

部会概要等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不定期開催</li> <li>・ 大津市障害者福祉センターに入っている各当事者団体が集まり、障害者施策に関する各団体の意見や要望についての共有</li> </ul>
参加者	大津市身体障害者更生会、大津視覚障害者協会、中途失調難聴者協会大津支部、滋賀県脳卒中者友の会「淡海の会」、滋賀県難病連絡協議会大津支部、大津市障害児者と支える人の会、オストミー協会、ろうあ福祉協会、湖の子会、障害者スポーツ協会、
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月16日：災害時の対応、差別解消、協議会の取組等に関して各団体の意見を交換する。</li> </ul>

検討課題	
------	--

### 3. プロジェクト会議報告

#### ①相談支援プロジェクト 9月で提言書を作成して終了。

部会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年4月～8月（5か月間）＊第1金曜日の15：30～17：30</li> <li>・下記の3点に関して議論</li> <li>①市町村相談支援事業（委託相談支援事業所）が圏域で担う本来の役割と体制の整理</li> <li>②市町村相談支援事業（委託相談支援事業所）の業務内容と委託費の見直し</li> <li>③指定特定相談支援事業所を増やすための方策</li> </ul>
参加者	障害福祉課、自立支援協議会事務局、やすらぎ、じゅぷ、ひびき、ブリッジ、すまいる・らふ、生活支援センター
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月9日：調査表作成、目的、手法、確認</li> <li>・4月26日：全相談支援専門員参加しての集合式調査（相談支援体制セルフチェックシート記入）</li> <li>・5月24日：データの読み解き</li> <li>・6月7日：滋賀県障害福祉課の大平さんを講師に招いて今後の相談支援体制の在り方に関して学習会を行う。また、セルフプランの作成に関しても意見交換を行う。</li> <li>・7月5日、8月2日、9月6日：提言書の作成に向けた意見交換を行う。</li> </ul>
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育と福祉との連携強化に向けた取り組み</li> <li>・ライフステージで切れ目ができない支援体制の整備。</li> </ul>

#### ②トライアングルプロジェクト（学齢期プロジェクトから改名）

代表 増田 裕介（ゆにこ）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2ヶ月に1回程度開催。</li> <li>・今年度の課題は、今年度の課題は、昨年度のモデル事業を「報告」「周知」「定着」とする</li> </ul>
参加者	障害福祉課、ぐっどらいふ、フレンズ、ゆにこ、ハーフステップ風和々、みゆう、じゅぷ、やまびこ相談支援事業所、生活支援センター、教育相談センター、逢坂小学校、大津市発達障害者支援センターかほん
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月21日：トライアングルプロジェクト冊子の紹介と今年度の取り組みの確認</li> <li>・10月29日：福祉と教育の連携の取り組みの今後の在り方の意見交換を行う。</li> <li>・2月4日：今後の取り組みに関して意見交換を行う。</li> </ul>
検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育と福祉との連携強化に向けた取り組み</li> <li>・ライフステージで切れ目ができない支援体制の整備。</li> </ul>

#### ③障害福祉と児童福祉の連携に関する検討会

代表 坂本 彩（自立支援協議会事務局）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被虐待及び児童養護施設を退所された後の障害児の18歳以降の支援に関する検討会を児童福祉の関係者も招いて開催予定。</li> </ul>
-----	---

参加者	・相談支援（やまびこ、ひびき、オアシス、ひなた）、はっち、大津市虐待防止センター、市内児童養護施設（小鳩の家、湘南学園）、自立生活支援ホーム、北大津養護学校、大津ファミリーホーム、障害福祉課、ほわいとクラブ
開催状況	・7月22日、9月9日、1月20日：児童福祉から障害福祉に移行した事例の検討を行う。
検討等	・社会的養護の障害児18歳以降の支援を児童福祉から障害福祉に移行して支援する際に本人の課題やニーズに対してうまく支援がマッチングしないことがある。

#### ④スタンダードプロジェクト会議

代表：中崎 ひとみ（共生シンフォニー）

若手代表：元藤 大幹（美輪湖の家大津）

部会等	・障害福祉サービス事業所が自己点検やより質の高い福祉サービス事業者になるための指針を作成する。
参加者	・事務局 大津市障害者自立支援協議会：松岡 O.S.K.：西川氏 ・コアメンバー：藤木さん、秋田さん、中崎さん、白杉さん、障害福祉課、当事者（めざす会）、 ・若手メンバー：愛育苑、くれおカレッジ、多機能事業所さくら、やすらぎ、社会就労センターこだま
開催状況	・5月27日：若手メンバーにより今後の進め方に関して意見交換を行う。 ・2月6日：若手メンバーにより今後の進め方に関して意見交換を行う。
検討課題等	・大津市の障害福祉サービスのスタンダードとなる基準と要件を作成して、自己評価、利用者評価、第三者評価を行い、事業所の質的向上及び市民が福祉サービスを選ぶ判断材料となるものを作るべく議論している。

#### ⑤ 大規模災害時の対応に関するプロジェクト会議 7月に提言書を作成して終了。

代表：風呂井 茂（しが夢翔会）

部会等	・大規模災害時の事業所の防災マニュアルの作成の支援と避難行動要支援者の個別計画の策定の検討を行う。
参加者	・おおつ生活と労働協議会、ヘルプ事業所協議会部会長、放課後等支援部会部会長、日中支援部会部会長、大津市社会福祉協議会、バクバクの会、北大津養護学校 障害福祉課
開催状況	・4月23日：前年度の取り組みの振り返りと提言書の作成の検討を行う。 ・5月28日：提言書の作成の検討を行う。 ・6月25日：提言書を完成させ、プロジェクト終了後の課題に対する進め方に関して確認を行う。
検討課題等	・プロジェクト会議としては提言書を作成して終了となる。今後も各部会等で災害時対策に関して検討を行う。

#### ⑥大津ならではの就労移行支援プロジェクト

代表：白杉 滋朗（おおつ働き暮らし応援センター）

部会等	・2ヶ月～3ヶ月に1回程度の割合で開催。
-----	----------------------

参加者	・ おおつ働き暮らし応援センター、障害福祉課、北大津養護学校、草津養護学校、滋賀大附属特別支援学校、れもん会社、みずほ、多機能事業所さくら、くれおカレッジ、スコラ、きずな
開催状況	・ 5月23日：大津ならではの就労移行支援の事業所の現状共有と卒業生の進路希望の確認と今後の運営に関する意見交換を行う。 ・ 9月24日：各事業所の現状の共有と今後の大津ならではの在り方の意見交換を行う。 ・ 1月28日：事業所の現状と課題の共有、来年度の進路調整の状況確認、補助金の在り方の検討を行う。
検討課題等	・ スコラのひまわりはうすから他事業所への移行に関して。 ・ 大津ならではの就労移行支援の取り組みをより推進していくため、カリキュラムや支援内容の充実に向けた加算の継続の検討 ・ 大津ならではの就労支援の意義や効果を本人や家族にどうアピールしていくか。

#### ⑦移動支援プロジェクト

代表：染井 将仁（地域生活サポートセンターじゅぶ）

部会等	・ 2か月に1回程度開催。 ・ 大津市の移動支援の在り方に関して見直しを行う。
参加者	①相談支援事業所：じゅぶ、いるか、生活支援センター ②移動支援事業所：かがやき（ヘルプ協代表）：寺田、ゆいヘルパーステーション、福祉会ヘルプ、スマイルケア、サポート楽 ③障害福祉課
開催状況	・ 4月18日：移動支援プロジェクトの今年度の進め方の確認と移動支援のQ&Aの内容に関して意見交換を行う。 ・ 6月20日：移動支援のQ&Aに関する最終確認及び移動支援の見直しの方向性に関する大津市からの説明とそれに対する意見交換及び今後の進め方に関して検討を行う。 ・ 10月17日：大津市より移動支援の見直し案の進捗の報告を受けて意見交換を行う。 ・ 2月20日：2021年3月からの制度の見直しに関して説明を大津市より行ってもらった後、意見交換を行う。
検討課題等	* 以下の点に関して見直しを行う。 ・ 利用対象者の拡大 ・ 外出時における居宅介護の身体介護の在り方の再検討。 ・ 移動支援における車両利用の在り方の見直し ・ 移動支援の支給量に関して一律から個別ニーズに応じた決定への変更 ・ 利用者負担の見直し

#### 4. 各種運営委員会報告

##### ①自立生活支援ホーム運営委員会

報告者：坂本 彩（自立支援協議会事務局）

部会等	・ 3ヶ月に1回程度開催 ・ 大津市にある自立生活支援ホーム「桜野ホーム」、「第2桜野ホーム」の入居者の支援状
-----	--

	況の確認と今後の入居希望者の状況に関して共有と入居調整を行う
参加者	・ 自立生活支援ホーム担当者、障害福祉課、ひびき、生活支援センター、おおつ働き・暮らし応援センター、ひなた、大津市社会福祉協議会
利用状況	・ 現在男性 3 人、女性 3 人が利用。
開催状況	・ 5 月 13 日、9 月 2 日、1 月 6 日、3 月 2 日：現在の利用者の状況を確認する。
課題等	・ 信楽通勤寮廃止後、就職しながら一人暮らしを目指す知的障害の方のための訓練施設として県内に 3 か所設置されたが、湖東圏域は事業休止で、大津と甲賀で県と市の補助を受けて運営している。しかし、近年は虐待ケースや社会的養護の児童の 18 歳以降の受け止め先としての役割が大きくなっている。

## ②居住サポート事業事務局会議

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

部会等	・ 3 ヶ月に 1 回程度開催 ・ 居住サポート事業の実績報告と支援状況の確認、課題の検討を行う。
参加者	・ 障害福祉課、保健予防課、オアシスの郷、やすらぎ
開催状況	・ 8 月 2 日：居住サポート事業の今後の在り方に関して意見交換を行う。 ・ 11 月 11 日、1 月 22 日：居住サポート事業の今後の在り方に関して意見交換を行う。
課題等	・ 居住サポートの利用ニーズが増える中で今後の受け方の見直しが必要で、居住サポートの会議で選定会議を定期的実施していくことにする。また、緊急の案件は運営委員会で選定の検討を行うことに。

## ③スコラ運営委員会

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

部会等	・ 年 3 回程度開催 ・ 学校や行政や関係する就労移行支援事業所にも関わっていただき、利用者個別の進路調整や支援の方向性の共有と検討を行う。 スコラの利用者は現在 12 人。今年 4 月に 8 人が新規利用を開始。また、今までに 4 人が移行。（就労移行支援 2 人、就労継続支援 B 型 2 人）
参加者	・ スコラ、北大津養護学校、草津養護学校、滋賀大附属特別支援学校、多機能事業所さくら、瑞穂、れもん会社、Quocare、働き暮らし応援センター
利用状況	現在、8 人利用している。内 1 人は 3 年目利用している。
開催状況	・ 4 月 23 日：スコラの利用者の状況と新規利用希望者の確認を行う。 ・ 2 月 25 日：スコラの利用者の状況と新規利用希望者の確認を行う。
課題等	・ スコラの次の移行先の調整に関して、他事業所との連携の強化。

## ④住まいの場のとりまとめ会

報告者：松岡 啓太（自立支援協議会事務局）

部会等	・ ホームに空きが出たときに開催 ・ 大津市内のグループホーム及び施設入所支援に入居を希望されている方で相談支援事業所等を通して申し込みのあった方のリストの作成を行う。 ・ 市内で新規にホーム等が整備された場合または既存ホームに空きが出た場合の入居者
-----	---

	<p>の選定に関して、事業所を運営する法人にリストを提示して、リストからの入居者の選定の検討をしてもらう。</p>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害福祉課、委託相談支援事業所 8 か所、おおつ働き暮らし応援センター、発達障害者支援センターかほん、大津市権利擁護サポートセンター</li> </ul>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月にノエル福祉会とるみえのホームに空きが出たので、利用調整を行う。</li> <li>・ 1月にりんごの木ホームの利用調整の会議を行う。</li> <li>・ 1月にケアホームともるとぼのハウスの入居調整に関して、入居希望者の確認と優先順位の選定に関して意見交換を行う。</li> </ul>
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 待機者は令和2年7月1日現在で195人。</li> </ul>